



工事区域の現在の状況

1 施設本体工事

南側の斜面で造成工事を行っています。

また、処分場の東側の谷に整備する防災調整池周辺の木の伐採を行うとともに、工事用道路の整備も進めています。



工事区域を上空から見た状況 (令和5年2月28日撮影)



環境保全対策の実施

造成工事を開始する前には、工事区域の東側に、降雨により発生した濁水を貯める沈砂池と濁水を処理する濁水処理設備を設置しました。



沈砂池



濁水処理設備

掘削した土砂を運ぶ車

造成工事により発生した土砂は、処分場の西隣に位置する大平山鉱床に運搬して、埋立てを行います。

今回の工事では、『アーティキュレートトラック』と呼ばれる車を使う計画としています。

この車は、10トンダンプトラック約3台分の土砂を一度に、効率的に運ぶことができます。（騒音の大きさは、10トンダンプと同程度です。）

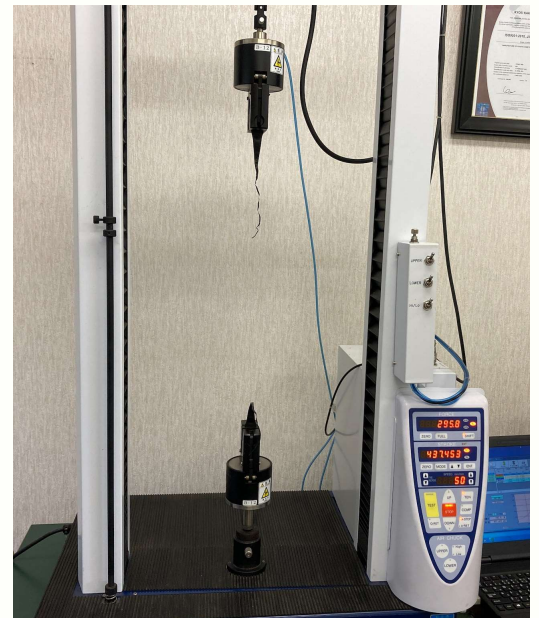


遮水シートの製造について

処分場から発生する水を外部に出さないように埋立地内に設置する遮水シートを、1月から3月にかけて、メーカーの工場で製造しました。

工場において、製造したシートの試験を実施し、基準で定められた強度を満足していることを確認しました。

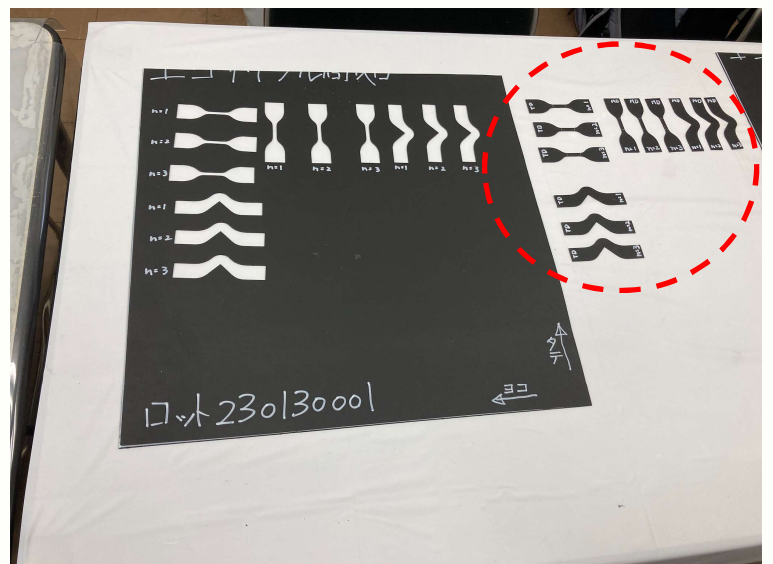
また、この試験とは別に、第三者機関にも試験を依頼し、所定の強度を満足していることを確認しています。



試験の状況



製造した遮水シート



左の遮水シートから切り出した試験体

2 進入道路整備工事

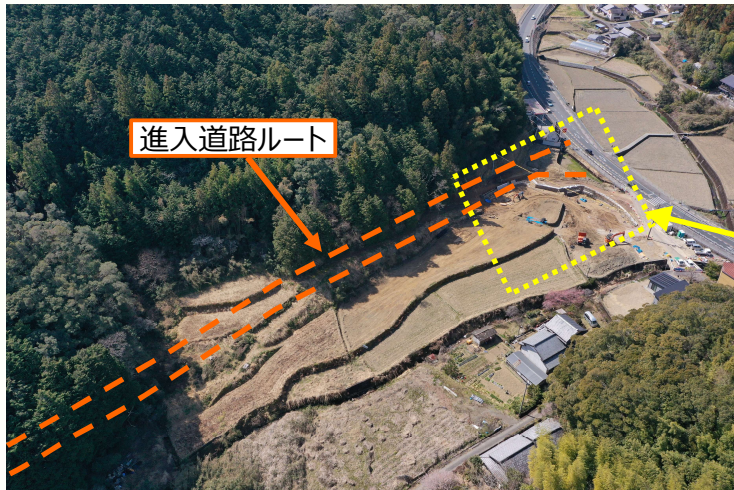
国道付近の町道（霧生関長竹2号線）の付け替え工事（水路の設置等）を実施するとともに、処分場に向けての掘削工事や進入道路の擁壁工事を行っています。



進入道路の擁壁

令和5年3月10日撮影

工事区域を上空から見た状況（令和5年3月6日撮影）



進入道路ルート



新しい町道の擁壁と水路

築数十年の我が家は風呂入ってくる

廊下と脱衣所がこじやんとひやい

耐震改修を考えよったけど暑さ寒さ対策を優先さいたほうがよさそうなねえ

それなら心配ご無用！

浴室断熱

内窓設置

リフォーム

入浴中の事故は交通事故よりも多いと言われています。また、熱中症死者数も屋外より屋内のほうが多くなっています。

昭和56年5月以前に建築された旧耐震基準の住宅は、そのほとんどが現行の省エネルギー基準を満たさないものと想定されます。

省エネルギーフォームと耐震改修は一緒にできるがやき！

家全体がぬくうなって快適快適～♡

光熱費も減ったぞね

断熱材

二度手間にならないでえいわ

やったかいがあったねえ

耐震改修のために工事する壁に断熱材を入れるなど、同時に行うと工事に無駄がありません。

省エネルギーフォームと耐震改修を一緒に行うことで快適で安全な住まいを手に入れませんか。

佐川町 住宅耐震化事業

耐震診断

耐震設計

耐震改修

無料で
申込OK

補助金
~25.5万円

補助金
~130万円

補助金がある耐震改修と一緒に
省エネルギーフォームもやってよ！

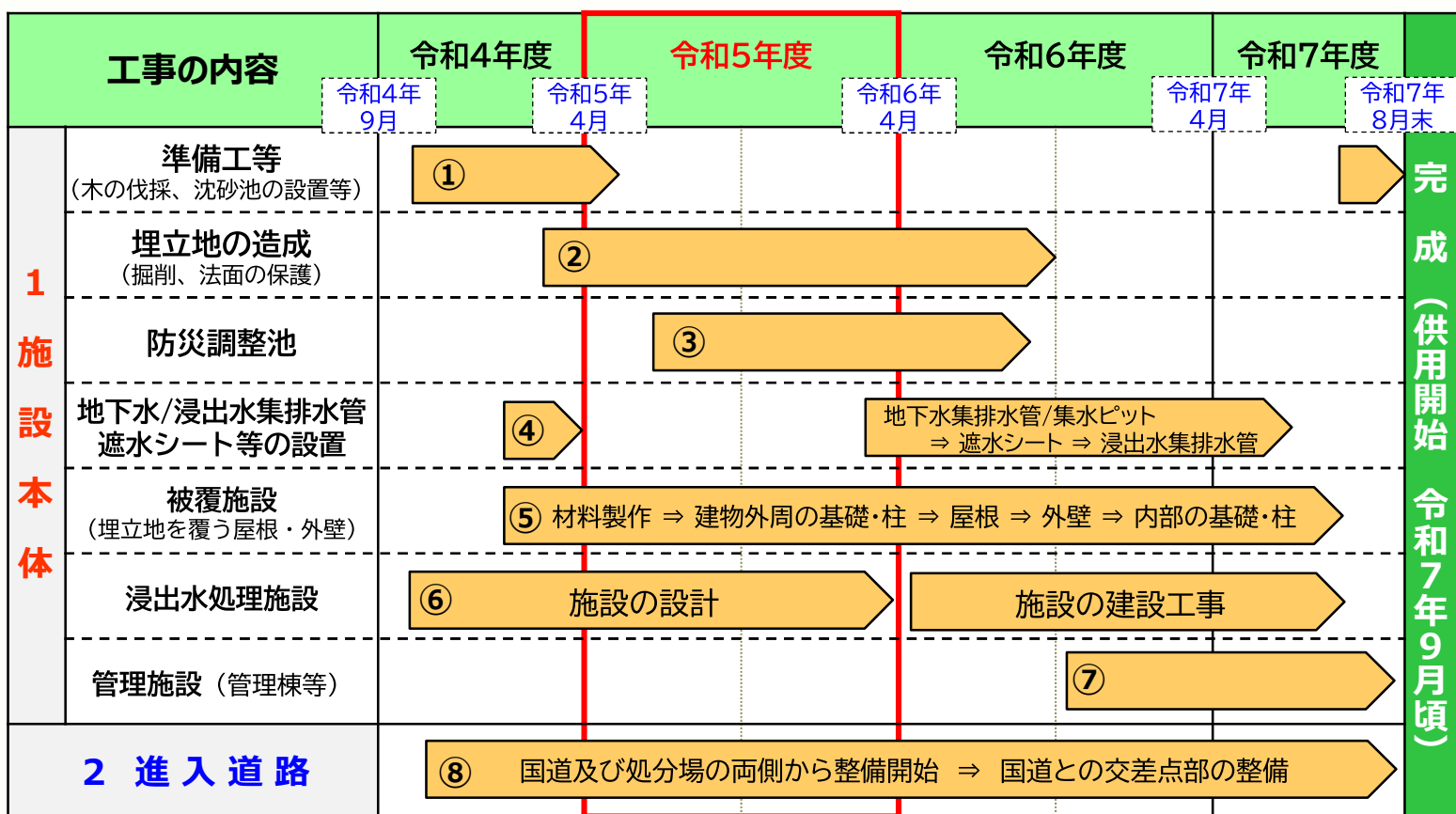
◎申込み・補助金額については佐川町建設課
[TEL22-7712](tel:22-7712)
お問い合わせください

長男：耐震改修の大ちゃん
©村岡マサヒロ

耐震に関する制度は
高知県住宅課HPをご覧ください



工事の進捗状況及び令和5年度に実施する工事の内容



※ このスケジュールは、現時点の工事計画を元に作成していますので、今後、現地の状況等により見直す場合があります。
 なお、⑦の処分場内の管理施設、⑧の国道との交差点部の整備にかかる工事は、別途、令和6年度に発注する予定です。

1 施設本体工事

令和4年度は、下の表のとおり、木の伐採等が完了した箇所から造成工事を実施しました。
 また、遮水シートや被覆施設の屋根材料の一部を製造しました。

(令和4年度末の進捗見込 約6%)

令和5年度は、造成工事を引き続き実施するとともに、防災調整池の整備に着手します。
 あわせて、造成工事が一定進んだ段階で、被覆施設の工事にも着手します。

令和4年度(実績)	① 準備工等	現場事務所の設置、測量の実施、木の伐採等の実施
	② 埋立地の造成工事	南側斜面の掘削を一部実施
	④ 地下水/浸出水集排水管 遮水シート等の設置	遮水シート等を製造
	⑤ 被覆施設	屋根材料の一部を製造
	⑥ 浸出水処理施設	設計の実施
	令和5年度(予定)	① 準備工等
② 埋立地の造成工事		埋立地の造成(埋立地の地表面の高さまでの掘削等)を行い、⑤の被覆施設の工事の進捗にあわせて、埋立地内部の造成を実施
③ 防災調整池		①の工事用道路完成後、整備を開始(5月頃から)
④ 地下水/浸出水集排水管 遮水シート等の設置		②の埋立地の造成工事の進捗にあわせて、集水ピットや地下水集排水管の施工を開始
⑤ 被覆施設		②の埋立地の地表面の高さまでの造成工事完了後、被覆施設の外周の基礎や柱を施工(10月頃から)
⑥ 浸出水処理施設		令和4年度から引き続き、設計を実施(令和5年度完了予定)

2 進入道路整備工事

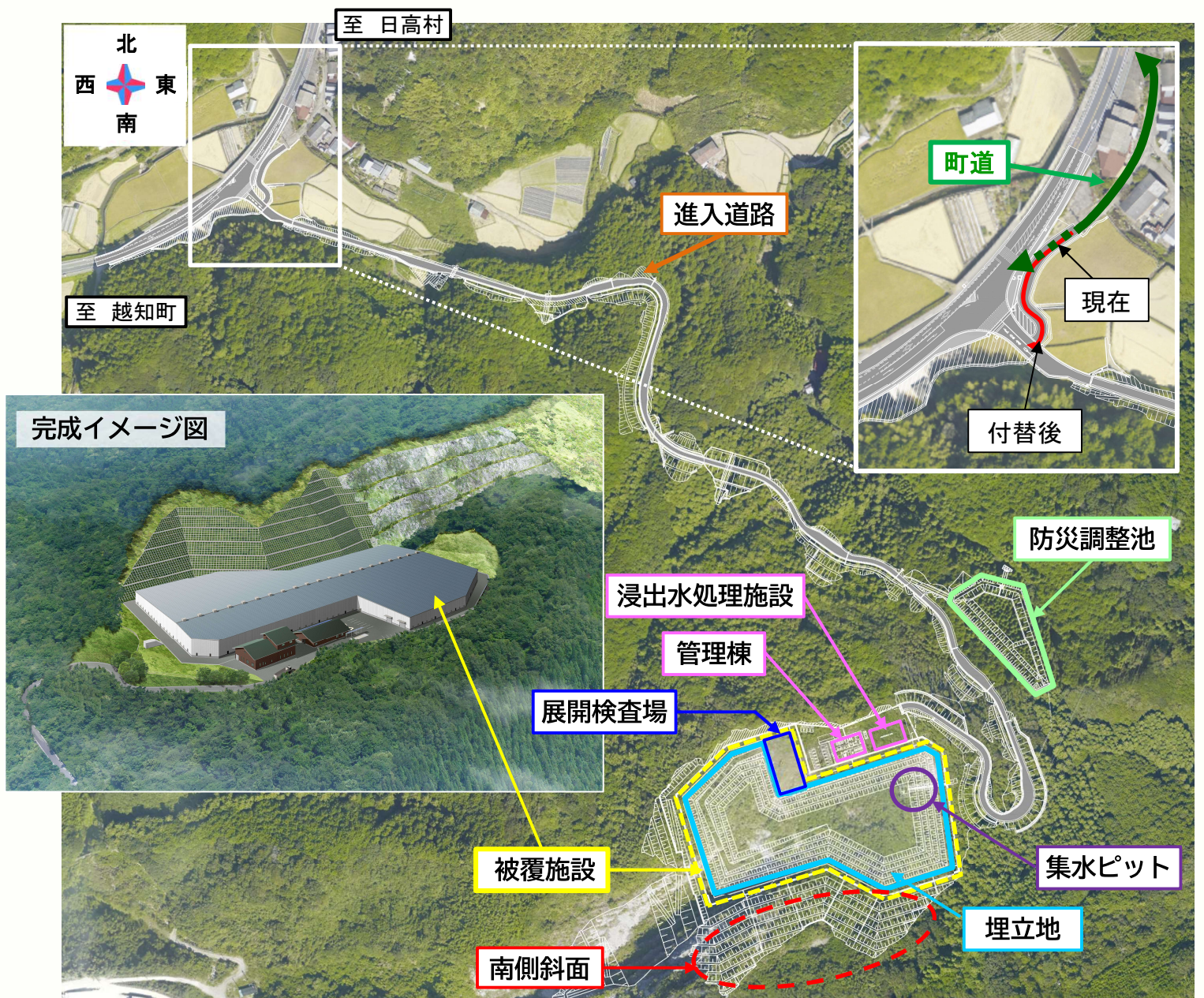
令和4年度は、下の表のとおり、国道との交差点付近にある町道（霧生関長竹2号線）の付け替え工事等を実施しています。（令和4年度末の進捗見込 約3%）

令和5年度は、処分場に向けての道路整備を進め、国道との交差点から約340mの区間において擁壁や水路等を施工します。

令和4年度 (実績)	準備工等	現場事務所の設置、測量の実施、木の伐採等の実施
	町道の付替	擁壁や水路等の施工
	⑧ 進入道路	国道付近の既設構造物の取り壊しや擁壁の施工
令和5年度 (予定)	準備工等	年度内に施工する区間の測量の実施、木の伐採等の実施
	進入道路	処分場に向けて、順次、擁壁や水路等を施工するとともに、道路が谷を横断する箇所に函渠（箱型の水路）を施工

3 環境モニタリング

令和4年度から実施している河川水、井戸水、降下ばいじん（6～8ページ参照）に加えて、4月頃から、**進入道路整備工事の区域に近接した家屋周辺において、騒音、振動の測定、猛禽類（サシバ）の繁殖活動等のモニタリングを新たに実施していく予定です。**



環境モニタリング（2月）の結果について

2月に実施した環境モニタリング（河川水、降下ばいじん）の測定結果がまとまりましたので、お知らせします。（降下ばいじんは、1月24日～2月27日の1か月間の測定結果です。）

また、水質（河川水、井戸水）、降下ばいじんのこれまでの測定結果から、現時点における工事の影響の有無について整理し、記載しています。

1 河川水

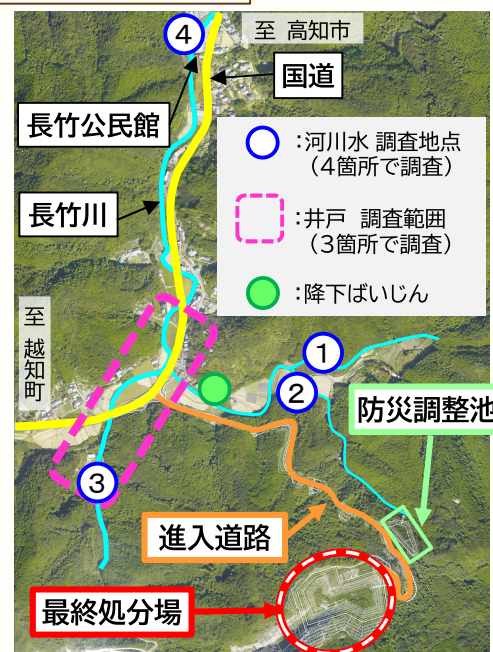
（単位）浮遊物質量：mg/L、濁度：度

地点	測定項目	R4.10.25	R4.11.25	R4.12.27	R5.1.24	R5.2.27	基準値※
①	浮遊物質量	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	25
	濁度	0.5	0.3	0.4	0.3	0.2	—
②	浮遊物質量	4	2	1未満	1未満	1未満	25
	濁度	1.0	0.8	0.3	0.2	0.2	—
③	浮遊物質量	1	2	1	1	1未満	25
	濁度	0.9	1.4	0.5	1.4	0.6	—
④	浮遊物質量	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	25
	濁度	0.6	0.6	0.4	0.6	0.4	—

【参考】環境影響評価での測定結果

地点	測定項目	(秋季) R2.10.19	(冬季) R3.2.12	(春季) R2.5.13	(夏季) R2.8.25
①	浮遊物質量	1未満	1未満	1未満	1未満
	濁度	0.6	0.2	0.6	0.4
②	浮遊物質量	4	1未満	1	3
	濁度	1.5	0.4	0.6	1.0
③	浮遊物質量	2	1未満	1	4
	濁度	1.1	0.7	1.1	1.0
④	浮遊物質量	1	1未満	2	1未満
	濁度	0.6	0.3	2.5	0.5

モニタリング地点



※ 日下川が環境基準類型Aに指定されていることから、類型Aの浮遊物質量の環境基準値を採用。

なお、濁度については、環境基準値はありませんが、浮遊物質量と相関があることから、あわせて測定しています。

2 井戸水

《井戸①》	単位	(秋季) R4.10.25	(冬季) R5.1.24
一般細菌	個/mL	1	0
大腸菌	-	不検出	不検出
亜硝酸態窒素	mg/L	0.004未満	0.004未満
硝酸態窒素 及び 亜硝酸態窒素	mg/L	0.1未満	0.2
塩化物イオン	mg/L	2.7	2.8
全有機炭素	mg/L	0.3未満	0.3未満
pH 値	-	7.2	7.0
味	-	異常なし	異常なし
臭気	-	異常なし	異常なし
色度	度	0.5未満	0.5未満
濁度	度	0.1未満	0.1未満

【参考】環境影響評価での測定結果				
(秋季) R2.10.19	(冬季) R3.2.12	(春季) R2.5.13	(夏季) R2.8.25	
2	0	3	0	
検出	不検出	不検出	不検出	
0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	
0.1未満	0.1	0.1未満	0.1未満	
2.5	2.6	2.4	2.6	
0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	
7.1	7.3	7.3	7.0	
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	
0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	

《井戸②》 測定項目	単位	(秋季) R4.10.25	(冬季) R5.1.24
一般細菌	個/mL	470	14
大腸菌	-	不検出	不検出
亜硝酸態窒素	mg/L	0.004未満	0.004未満
硝酸態窒素 及び 亜硝酸態窒素	mg/L	0.9	1.0
塩化物イオン	mg/L	9.5	4.3
全有機炭素	mg/L	0.3未満	0.3
pH 値	-	6.5	6.6
味	-	異常なし	異常なし
臭気	-	異常なし	異常なし
色度	度	0.6	1.4
濁度	度	0.1	0.2

【参考】環境影響評価での測定結果			
(秋季) R2.10.19	(冬季) R3.2.12	(春季) R2.5.13	(夏季) R2.8.25
58	120	36	280
検出	検出	検出	検出
0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
0.4	0.4	0.3	0.4
2.8	3.1	3.1	2.7
0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満
6.7	6.7	6.8	6.7
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
1.5	1.2	3.4	1.1
0.2	0.4	0.4	0.2

《井戸③》 測定項目	単位	(秋季) R4.10.25	(冬季) R5.1.24
一般細菌	個/mL	0	0
大腸菌	-	不検出	不検出
亜硝酸態窒素	mg/L	0.004未満	0.004未満
硝酸態窒素 及び 亜硝酸態窒素	mg/L	2.0	1.6
塩化物イオン	mg/L	4.0	3.9
全有機炭素	mg/L	0.3未満	0.3未満
pH 値	-	6.6	6.5
味	-	異常なし	異常なし
臭気	-	異常なし	異常なし
色度	度	0.5未満	0.5未満
濁度	度	0.1未満	0.1未満

【参考】環境影響評価での測定結果			
(秋季) R2.10.19	(冬季) R3.2.12	(春季) R2.5.13	(夏季) R2.8.25
0	0	14	18
不検出	不検出	不検出	不検出
0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
1.8	1.5	1.6	1.8
3.4	3.4	3.3	3.5
0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満
6.5	6.6	6.6	6.5
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満

※ 井戸水の調査は年4回（季節ごと）実施しますので、今回の掲載データは、2月号の再掲となっています。

3回目（春季）の調査は、4月25日に実施する予定ですので、その結果は次回以降でお知らせします。



工事の影響について(河川水、井戸水)

- 河川水については、工事区域から発生する水が流れる②及び④の地点ともに、**工事開始前の令和2年から3年にかけて実施した調査や工事開始直前の令和4年10月調査の結果から大きな変化はありません。**
- 井戸水についても、3箇所の井戸とも河川水と同様に、**工事開始前に実施した調査の結果から大きな変化はありません。**
- このため、現時点では、**工事の影響はない**と考えています。
- 今後も、沈砂池の設置等により、工事に伴う濁水の河川や地下水への流入を防止するとともに、測定結果を注視しながら、水質に影響を及ぼさないように取り組んでいきます。

3 降下ばいじん

(単位) t/km²/月

R4.10.25 ~11.25	R4.11.25 ~12.27	R4.12.27 ~R5.1.24	R5.1.24 ~R5.2.27	基準値※1
0.25	1.35	0.24	1.13	10

【参考】環境影響評価での測定結果※2

(秋季) R2.11.2 ~11.30	(冬季) R2.2.25 ~3.25	(春季) R2.4.20 ~5.19	(夏季) R2.9.18 ~R2.10.19
0.56	1.14	1.90	0.30



※1 環境影響評価で定めた参考指標。

※2 長竹公民館付近で測定した値。

工事の影響について

- 造成工事を本格的に開始する前の令和4年10月25日~11月25日の間の測定結果は、0.25t/km²/月となっています。
- 工事開始後の11月25日~12月27日の間では1.35 t/km²/月と増加しましたが、3回目の12月27日~令和5年1月24日の間では0.24 t/km²/月となり、工事開始前の数値を下回っています。また、最新の結果である1月24日~2月27の間では1.13 t/km²/月となり、工事開始後0.24 tから1.35 tの間で変動しています。
- 令和2年の環境影響評価の際に長竹公民館付近で測定した4回の結果においても、測定時期により0.3 t~1.9 tまでの変動幅が確認されています。
- このように「降下ばいじん」の量については、同じ地点であっても季節の風向や湿度等の気象条件によって一定の幅で変動します。
- 現時点までの4回の測定結果の変動も、気象条件等の影響によるものと考えています。
- 今後も、排出ガス対策型の重機の使用や散水等の対策を実施するとともに、測定結果を注視しながら、周辺家屋等に影響を及ぼさないように取り組んでいきます。



車両のタイヤ洗い場



散水車による工事区域内での散水

1~3の環境モニタリングは、計量証明事業所の登録を受けた(株)東洋技研【高知市】が実施しています。

【お問い合わせ先】

○ 公益財団法人エコサイクル高知 佐川町事務所
 電話 : 0889-22-4744
 F A X : 0889-22-4764
 メール : info@ecokochi.or.jp
 〒789-1201 高岡郡佐川町甲1650番1号

○ 高知県 林業振興・環境部 環境対策課
 電話 : 088-821-4595
 F A X : 088-821-4520
 メール : 030801@ken.pref.kochi.lg.jp
 〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目7番52号